

1 水産総合研究所の沿革と組織

(1) 位 置

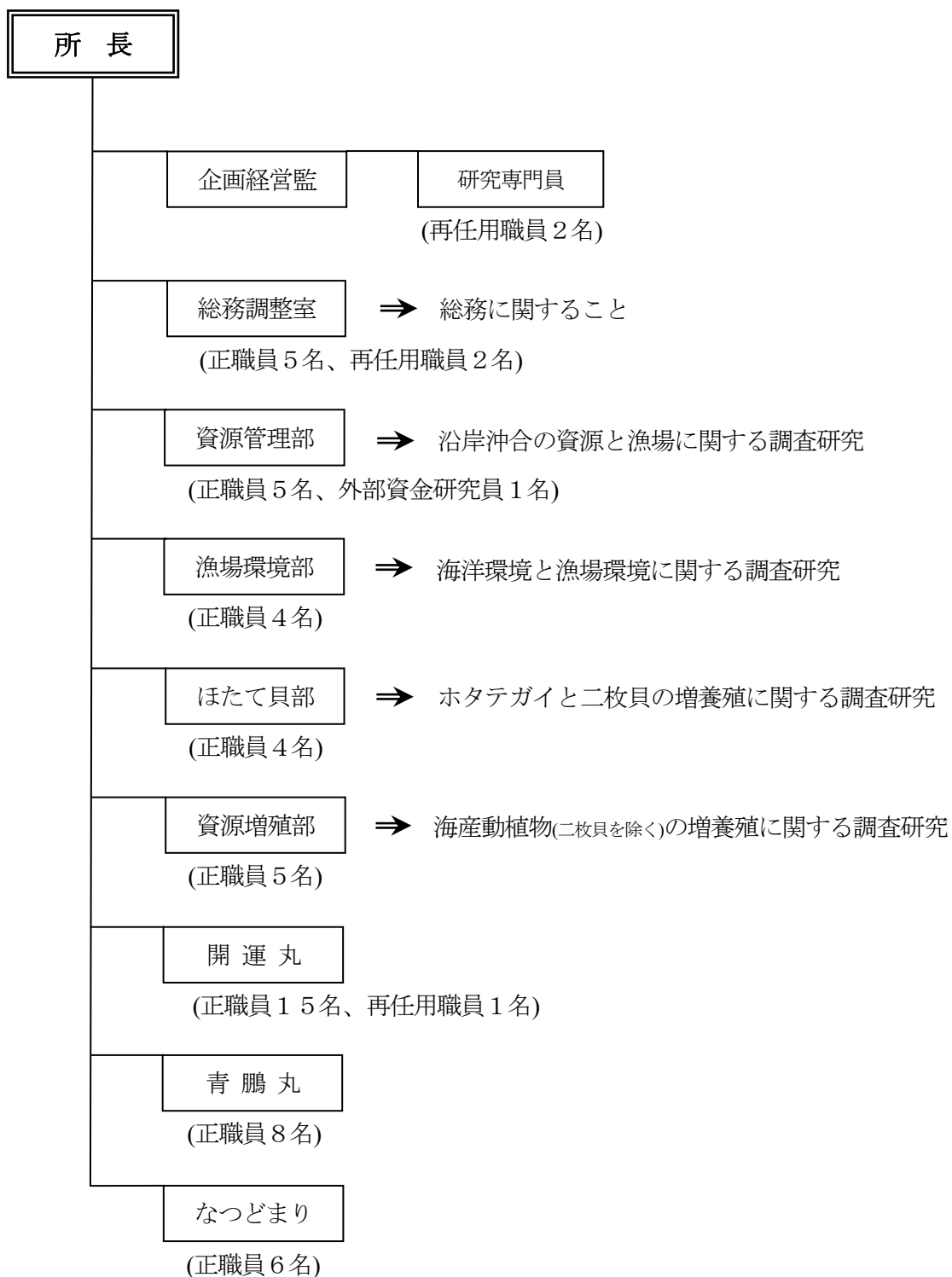
東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

(〒039-3381 TEL 017-755-2155 FAX 017-755-2156)

(2) 沿 革

明治33年2月	青森県水産試験場設置認可（農商務大臣）
明治33年4月	青森市大字大野字長島青森県庁構内に設置し事務開始
明治34年	相坂鮭鱒人工ふ化場を上北郡藤坂村に設置
大正13年	本場を八戸市湊町に移転
昭和23年	黒石養魚場を南津軽郡中郷村に設置
昭和23年	本場を西津軽郡鱒ヶ沢町に移転、庁舎新築
昭和24年	陸奥湾分場をむつ市に設置
昭和25年	黒石養魚場を黒石市大字石名坂に移転
昭和27年	陸奥湾分場が陸奥湾水産増殖研究所と改称され独立機関となる
昭和43年	水産増殖研究所を平内町茂浦に移転し、水産増殖センターと改称する
昭和51年3月	鱒ヶ沢町大和田に水産試験場新庁舎を竣工
昭和56年4月	十和田市に青森県内水面水産試験場を設置する（相坂、黒石両養魚場及び内水面関係業務を移管）
昭和58年2月	青森県水産試験場漁業研修センター竣工
平成5年	水産増殖センター新庁舎竣工
平成12年4月	水産試験場創立100年
平成13年3月	八戸市ポートアイランドに漁具倉庫新築
平成15年4月	試験研究機関の統合により青森県水産総合研究センターと改称され、下部機関として増養殖研究所、内水面研究所が配置となる
平成18年4月	水産総合研究センター庁舎を鱒ヶ沢町舞戸町に移転
平成21年4月	青森県水産総合研究センターと増養殖研究所を統合し、地方独立行政法人青森県産業技術センター水産総合研究所となり、庁舎を平内町へ移転

(3) 機 構 (令和元年度)



事務所：30名 (うち、外部資金研究員 1名)
 試験船：30名
 計：60名

(4) 施 設

① 土 地	20,971.30m ²		
② 建 物	5,461.74m ²		
・管理研究棟	鉄筋コンクリート造	1部2階建	1,735m ²
・実験機械棟	鉄骨造	平屋建	1,122m ²
・飼育実験棟	〃	〃	1,563m ²
・研修宿泊棟	木造	2階建	271m ²
・作業棟	〃	平屋建	324m ²
・取水ろ過棟	鉄筋コンクリート造		103m ²
・倉庫棟	木造	平屋建	108m ²
・発電機棟	鉄筋コンクリート造	〃	59m ²
・車庫棟	鉄骨造	〃	74m ²
・油庫棟	〃	〃	8m ²
・その他			95m ²
③ 主な施設			
・海水取水ポンプ	7.5KW	3台	
・逆洗ポンプ	18.5KW	1台	
・ろ過槽(重力式)	80トン/時	3基	
・ろ過水貯水槽	120トン	1基	
・ろ過貯水タンク	9トン	1基	
・屋外コンクリート水槽	12トン:6面、10トン:8面		
・親魚棟コンクリート水槽	30トン:1面、20トン:1面、10トン:4面		
・屋内FRP水槽	30トン:2面、10トン:2面、5トン:3面		
・ブローワー	3.7KW:2台、5.5KW:1台		
・発電機	500KVA	1台	
・海水温度制御装置(アクアトロン)	温海水 5系統 35トン/時 冷海水 4系統 6トン/時		
・海況自動観測装置(ブイロボット)	3基		
④ 試 験 船			
・開 運 丸	199トン	ディーゼル	1,600PS(鉄鋼船)
・青 鵬 丸	65トン	ディーゼル	1,000PS(〃)
・なつどまり	24トン	ディーゼル	770PS(FRP船)
⑤ 実 習 船			
・みどり	4.2トン	ディーゼル	50PS(FRP船)
・二十一海洋	2.8トン	船外機(4サイクル)	110KW(FRP船)